

梁川ホームだより

●平成18年1月1日発行

No.
16

発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 八巻 國夫
福島県伊達市梁川町字東土橋65-1 TEL 024 (577) 6111(代) FAX 024 (577) 6115

事業内容

- 特別養護老人ホーム 定員 80名
- 短期入所生活介護 (ショートステイ) 定員20名
- デイサービスセンターⅠ型
- デイサービスセンターⅡ型
- 在宅介護支援センター
- ケアハウス 定員30名
- 指定居宅介護支援事業所

総合老人福祉施設
〔梁川ホーム運営理念〕
安全・安心・ゆとりの

梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。
1. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。



運動会でハッスルハッスル、今日ばかりは負けられません!



ボランティアコスモスさんの麦畑に大笑い



紅彩館で

梁川ホーム 施設長 八巻 國夫
職員 一同

平成十八年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。ご利用者様、ご家族の皆様、そして地域の関係者の皆様におかれましては穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より梁川ホームに対するご指導、ご理解を頂き、心より御礼申し上げます。

おかげ様にて当施設は、特別養護老人ホームをはじめ各事業とも順調な運営がなされております。「自由で安心できる暮らし、健康で長生きできる環境作り」を念頭に置き、職員一同、日々努力をいたしております。

本年も、施設運営理念達成を目的にご利用者様はもちろん、地域の方々にも愛される「高齢者の拠点」として、施設の運営をいたして参ります。

なお、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

明けまして
おめでとうございませす

特集15「人間尊重の 施設づくりに向けて」

梁川ホーム運営理念の具現化への第一歩

お年寄りの処遇と QOL(生活の質)の向上を目指して

施設の介護には主に「入浴、排泄、食事」と三つの大きな介護があります。

その中でも今回は、入浴の介護を通して、施設を利用してのお年寄りの方たちにいかに自主性の尊重と人間としての尊厳を考えたサービスを提供できるか、私たちが考え実践してきた取り組みをご紹介します。

入浴は、体の清潔を保つことはもちろん、精神的なやすらぎを与える効果や、床ずれや湿疹など身体的な状態を確認する場でもあり、重要な介護の一つとされています。しかしながら以前の入浴介助は、介助方法の未熟さや入浴時間が限られていることなどの問題から、十分満足行くようなサービスではなかったように思います。

入浴プロジェクト の立ち上げ

もっと良い方法は無い

のか？とスタッフの間からも声があがり、平成十六年春より、介護アドバイザーの青山先生を迎えることとなり、それと同時に入浴プロジェクトを立ち上げ、プロジェクトのメンバーを中心に、定期的に講義を受けながら、入浴介護の改善に取り組むことになりました。先生を迎えるまでは、「何をする方がいいのかなのか？」

「自分たちの仕事とは？」と自問自答しながら手探りの介護でしたが、先生にご指導を受けてからは、

「介護とは何も難しいことではないこと、施設に入ってからといってそれまでの生活をあきらめるのではなく、それまで当たり前前に出来ていたことを、続けられるように援助することである」ということを学びました。

日常の中こそ 介護の要素が たくさんあり！

入浴介助の中には、たくさんさんの日常の介護の要素があります。

たとえば、利用者が服の脱ぎ着が出来るようになれば、トイレの介助も簡単に出来ること、シャワーチェアへの移乗が上手くできれば、普段の車椅子の移乗も出来るという具合です。それまでの入浴介助は、どちらかと

いうと力任せの介助であり、介護する方も受ける方も負担が大きいものでした。

そのため、体重の重い人、麻痺や拘縮がありバランスが良くない人は、機械浴と、どこかあきらめていたように思います。しかし、普通の生活の中では、自宅に機械のお風呂はありません。

当たり前の生活とは普通の生活です。

機械浴の人でも工夫をすれば、また職員が、その人の日常の動作をきちんと把握することが出来れば、普通のお風呂にも入れるのです。



木の香りがするお風呂へどうぞ



夫婦では、もう行くことはないと思っていたそうですが、今回ご夫婦で温泉に参加されました

そういった取り組みの中から徐々にではありませんが、機械浴に入る方が少なくなつてゆきました。それと同時に職員自身の気持ちも変わってきましたように思います。その人をきちんと見て可能性を伸ばすこと、そのかわりの中からお年寄りの皆さんが何を思い、何を感じて生活しているのかということに目を向けられるようになりました。外出の方法も変わりました。

毎日帰りたいと訴えていた方には、職員が付き添って自宅に行つてきました。認知症の方が自分の家で、普段の生活の中では見せないような笑顔をを見せてくださったり、その時ばかりは、昔を思い出して家族の皆さんときちんとお話される姿を見て、「次はあの方に声をかけてみようか」と職員の思いは広がりました。

このように、始めはどうやってお風呂に入れようか?という取り組みが、いつの間にか外出やトイレの介助までいろいろ変わってきています。病気になる前から、麻痺があるから、施設に入つたからと言つてあきらめるのではなく、どうしたら普通の生活が出来るのか?その方は何を思い、何を感じているのかというところに、職員一人ひとりがきちんと向き合ひ、時間をかけて取り組むことが出来れば、その人らしさがあらわれ、笑顔が見られるのではないのでしょうか?



「おひとつどうぞ」「はいはい、どうも」温泉にて

難しい言葉で言えば、その方の人権を尊重することにもつながると感じています。

この取り組みが始まってからもうすぐ二年になります。この間大きく変わった事もあれば、皆さんから見てもまだまだと思う部分もたくさんあると思います。

実際に、現在入浴介助に携わっている職員は固定されており、職員全員が入浴介助にかかわるまでには至っていない状況です。

入浴への取り組みをもっと多くの職員に広めながら、これからいろいろ



今年も温泉行きにチャレンジして、皆で記念撮影

ろなことに取り組んでゆきたいと思つております。最後に講師の青山先生がよく話される言葉で

「力愛不二」

という言葉があります。この意味は、「力だけでは何も変えられない」「愛だけでも変えられない」

「力と愛、両方があつてこそ変わる」

という言葉です。この言葉を介護の場面に置き換えると「力（介護技術）だけでは変えられない」「愛（利用者さんに対する

る思い）だけでは変えられない」「介護技術と利用者さんへの熱い思い二つが合わさった時に、大きく変わる」ということです。

二年間の取り組みは、まさにこの言葉に尽きるものだと思います。

この言葉を胸に刻みつつ利用者の皆様には、「あー梁川ホームに来てよかった」と思えるような思い出が一つでも多くできるように、これからも努力してゆく所存です。

梁川ホーム

「秋」と言えば、まわりの山々の赤や黄や茶色に染まった紅葉を見た時、空気の良い所でのおいしい山菜や果物など、この季節でしか味わえないものや風景を感じることが出来る季節です。

私達は、利用者さんと一緒に季節を感じ、そして気分清々しく、リフレッシュできたらいと思っています。

そんな秋も深まる中、今回は利用者さんと、十月には二本松菊人形の見学、十一月には、土湯温



選んでおいしそうに頬ばっていました。食欲の秋ですから、大いに秋の味覚を感じられたのではないのでしょうか。

車内から見える

泉山水荘へ希望者を募り一泊旅行へ出かけてきました。外へ出かけるということは、心がウキウキしてきますよね。

皆さんも楽しみの様子で出かける前日より、お気に入りの服をそろえたり、出発時間をまだかと待ちわびている方と、日頃見られない和やかな姿を拝見できるのは、私達職員にとつて大変うれしいことです。

二本松菊人形行きては途中の道の駅でランチタイム。皆さんそれぞれ好みのメニューを

秋色の戸外を満喫



景色や青空、紅葉に色づく山を見て「気分良かった！」と言う声も。もちろん菊人形見学も「何年

ぶりに行っただろう、とても懐かしかった。きれいだっただよ！」と言う声も聞かれました。そして、車内では利用者さんの歌声が響き、和やかな雰囲気の中出かけてきました。温泉旅行も恒例となっ

ホットなお知らせ

布団、マットレスの消毒・乾燥車を購入
法人3施設（あつかし荘・梁川ホーム・川俣ホーム）で導入し、3施設を1ヶ月ごとに回って、布団、マットレスの消毒・乾燥にフルに稼働しています。殺菌効果もあり、いつでもホッパホッパ気分を利用者の方に味わっていただけます。



てきており、温泉に入りたいという利用者さんと一緒に、いつもと違う広い浴場や豪華な食事。体への多少のリスクは考えられますが、職員が安全に介助、付き添います。やっぱり利用者さんの生き生きとした表情や、姿

を拝見することが私達職員の励みになっていきます。これから寒い冬になりますが、皆さん元気に過ごしましょう。暖かくなったら、またでかけましょう。

1月から4月までの主な行事予定

1月 新年会
2月 節分・豆まき
3月 ひな祭り
4月 開所記念

毎月
★書道クラブ
★陶芸クラブ
★将棋クラブ
★居酒屋
★ボランティア喫茶
★レクリエーションの日
★誕生会
など行っています。
どうぞご参加下さい。



デイサービスセンター

デイサービスでは、毎日のレクリエーションの他に年間を通じていろいろな行事を行っています。

まず一月、天神様への初詣で一年が始まりました。そして新年会です。

梁川ホームで収穫した梅で作った梅酒で乾杯の後、おせち料理をいただきました。

二月、旧正月のもちつきです。デイルームの中央に臼と杵を用意し、本格的なもちつきを行いました。職員だけでなく利用者の皆さんも杵を振り

上げ、ペタンコ、ペタンコ、相取りとの息もぴったりでした。つきあがったもちは、皆であんこもちにさせていただきました。

三月、ひな祭り。四月末から五月にかけては、花見のドライブです。今年は、花見山公園や万蔵稲荷、半田山方面に行ってきました。

デイサービスの一年をご紹介します



それぞれの思いを短冊に書き飾りました。八月、納涼会と夏菓子作りです。納涼会は、

お好み焼きを囲んで、ビールで乾杯。夏菓子作りは、利用者さんと一緒に

クリームあんみつを作りました。とっても甘くておいしかったです。

九月、敬老会。ボランティアコスモスの皆さんが一週間にわたり、毎日、



ご夫婦で祝い船、さずが息ぴったり



衣裳も決まっている、懐しの軍歌



感心したり、大笑いしたり

歌や踊り、手品などを披露してくださいました。

十月から十一月にかけてはもみじ狩りです。今年は十六沼方面や茂庭方面へ出かけました。天気にも恵まれ、すばらしい紅葉を楽しむことができました。

また、六月に植えたさつま芋が見事に育ち、芋掘りも行いました。その芋を使つての茶巾絞り



さつま芋掘り

は、利用者さんと一緒に芋をつぶしたり、ラップで茶巾を作ったり、楽しく作ることができました。十二月は忘年会とクリスマスケーキ作りで、一年が終わります。紙面の関係で詳しい紹介はできませんでしたが次の機会がありましたら、ご紹介したいと思ひます。



もみじがり



茶巾絞りを作っています



夏菓子作りをしました



華やかに松前踊り

ケアハウス広瀬

バースデー



「今まで誕生日なんてお祝いしたことがなかったよ、ここへ来て初めてだね」と皆さんからよく言われるバースデー。これだけは誰にでもある、年に一度の記念日。

誕生日とは、年をとったことを自覚する日だなんて言わずに、今年も誕生日を迎えられたことに感謝して、思いっきり



今日の私はどうかしらすてきでしょ

こんなことをしています



椎名先生のパフォーマンスにうっとり

「いやあ、声出したらすつきりしたくない」「たまに大きい声出すといいんだよ」月に一度のカラオケでストレス解消しています。

カラオケ喫茶

りおしゃれして誕生会に出席してください。職員からのお願いです。

今、ケアハウスで大ブレイク中なのは、これ、折り鶴です



右端は2センチ四方の紙で折った鶴、マッチ棒と比べてみると大きさがわかります。



二センチ四方の紙で鶴おりに挑戦して、みごと折りあげたSさんの作品が右、千羽鶴に挑戦した

椎名正枝様にカラオケの講師をしていただいています。自信のない歌も先生と一緒に大丈夫、大声を張り上げて♪ほら、上手でしょ。

一年の練習の成果を披露



Aさんの作品が左。千羽鶴は千手観音様に飾りました。どちらも見事で敬服しました。

―菅野桃李先生と民謡教室の皆さん―

楽しみながら、声を出すことを目標にして毎月練習しています。その練習成果を、梁川ホームの敬老会で披露しました。民謡を歌うのは、なかなか難しいそうですが、



紅葉狩りに行ってきました



腹ごしらえのまえにチョイト一杯!

昔なじみの歌を歌うとなぜかほっとするそうです。

10月27日に霊山の紅葉を見に行ってきました。まだ陽気が暖かく、色鮮やかな紅葉には出会えませんでした。紅彩館で食事をしてきました。

お腹の方は十分に満たされて、帰りはコラッセ福島に寄って帰ってきました。

梁川町在宅介護支援センター 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

介護予防が 始まります

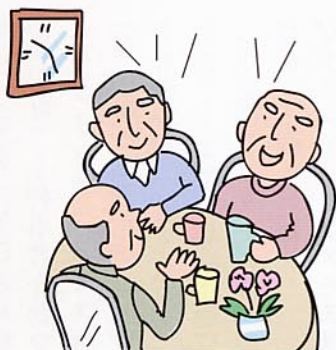


介護保険制度が始まって六年目、二度目の制度見直しが続いています。介護保険制度は「その人の生活・人生を尊重し、できる限り自立した生活を送れるように支援する」ことを目的として、「自立支援」が謳われてきました。

そのためには、高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐこと、要介護状態になっても状態がそれ以上に悪化しないようにすることが、大変重要になってきます。これが「介護予防」の考え方です。

私たち職員も介護予防の視点に立ち、より元気に長生きできるよう、共に目標を立て、支援していく力をつける努力をしてまいります。

要介護状態にならないよう予防し、たとえ要介護状態になっても改善できると希望を持っていきましょう！



介護予防の中でも、認知症の早期発見・予防は重要！

～認知機能を鍛えて認知症を予防しよう～

エピソード体験

体験したことを記憶して思い出す機能

～生活の中で思い出すことを意識してやってみる～

【例】家計簿や日記をつける（1日・2日遅れにしてみる）、趣味の記録をつける、など。



注意分割機能

2つや3つのことに注意をうまく振り分ける機能

～複数の作業を同時にやってみる～

【例】炊事（食器を洗いながら煮物を煮て、魚を焼く）仕事や作業をてきぱきと片付ける、人と会話をする時に相手の反応にも注意を払う、など。



計画力

物事の手順を考える機能

～手順を含んだ新しいことに挑戦する～

【例】自分で旅程を考えて旅行へ行く、複数のお店で買い物をする時に効率よく買い物する順番を考える、新しいレシピを考えて料理する、囲碁、将棋、麻雀、など。



認知症は病気です。進行すれば介護する側・される側とも大変ですが、最初に低下する認知機能を重点的に鍛えることで、認知症になることを遅らせることができるそうです。エピソード記憶・注意分割機能・計画力の鍛え方についてご紹介いたしますので、ぜひお試し下さい。

ボランティアの 来園状況

(平成17年8月)
平成17年11月

▽梁川高校 小野愛様(梁川町)：利用者との対話▽福島商業高校 渡辺麻美様(梁川町)：利用者との対話▽東陵高校 岡崎友莉恵様(梁川町)：利用者との対話▽成蹊高校 渡辺沙智様、幕田志穂様(梁川町)：利用者との対話▽梁川中学校 浜尾由美様、熊木みなみ様、幕田あゆみ様、菅野葵様、佐藤襟香様、引地成美様、斎藤文様、酒井美紀様、秋葉みずほ様(梁川町)：草むしり、利用者との対話▽梁川小学校ボランティア委員会様(梁川町)：お年よりとのふれあい▽梁川幼稚園様(梁川町)：お年よりとのふれあい▽大枝婦人学級様(梁川町)：清掃作業▽大枝踊りクラブ様(国見町・梁川町)：舞踊▽梁川町大正琴クラブ様(梁川町)：大正琴演奏

敬老会

▽ボランティアひろせ様(梁川町)：利用者介助▽ボランティアコスモス様(梁川町)：利用者介助▽菅野桃李様、藤丸東洗様、敦賀サト子様：民謡指導▽浅草雷門シスターズ様(福島市)：歌・舞踊▽ボランティアコスモス様(梁川町)：歌・舞踊(デイスービス)
■彼岸供養
▽臥竜山興国寺大方丈様：若方丈様：物故者供養
■芋煮会
▽JAふれあいグループつくし会様(梁川町)：芋煮汁作り
■運動会
▽ボランティアコスモス様(梁川町)：利用者介助
■定期
▽JAふれあいグループつくし会様(梁川町)：ボランティア喫茶▽梁理ホーム会様(梁川町)：理髪▽梁川町陶芸サポート会様(梁川町)：陶芸教室指導▽丹野隆雄様(梁川町)：ケアハウス陶芸教室指導▽梁川町将棋愛好会様(梁川町)

：将棋クラブ▽伊達方部退職公務員連盟女性部様(梁川町)：入所者との対話▽大友寛様、横山蔦子様(梁川町)：書道クラブ指導▽山本マッサージ様(梁川町)：特養・デイスービスでマッサージ▽三浦理容店様(梁川町)：デイスービス利用者の理髪▽梁川俳句会様(梁川町)：毎月ケアハウスに俳句を掲示▽鈴木順子様、高橋邦子様(梁川町)：裁縫▽タチバナ写真館様(梁川町)：特養入所者の写真撮影▽椎名正枝様(梁川町)：ケアハウスカラオケ指導▽菅野桃李様(保原町)：ケアハウス民謡教室指導▽柳田範子様(梁川町)：ケアハウス健康体操指導▽岡崎安治様(梁川町)：デイスービス利用者介助

【ついで】
池田 芳江様
(故) 池田 俊様

ご芳志・ご遺志
ご寄付の状況
(平成17年8月)
平成17年11月

笹木 栄一様 (故) 笹木 榮吉様
佐藤 薫様 (故) 佐藤 マサ様
三村 傳様 (故) 三村 フク様
斎藤 郁三様 (故) 斎藤トミ子様
小柳 邦明様 (故) 小柳 満様
宍戸 幹雄様 (故) 宍戸 トシ様
平山 和夫様 (故) 平山喜代二様
佐藤 節子様 (故) 佐藤 一様
阿部壮一郎様 (故) 阿部チトセ様
【ご芳志・ご寄付・ご寄贈】
○菅野喜善様：ご芳志
○佐藤数子様：ご芳志
○志賀正雄様：ご芳志
○後藤隆雄様：ご芳志
○秋葉哲郎様：お祝い
○菊地新一様：お祝い
○JA伊達みらい梁川総合支店様：ご寄付○宍戸秀男様(梁川町)：じゃがいも
○原田悦雄様(梁川町)：すいか、白菜○阿部百合子様(梁川町)：衣類○引地

収様(梁川町)：植物のオブジェ○日下妙子様(梁川町)：紙オムツ○横山貴良様(梁川町)：野菜○野間俊男様(梁川町)：タオル○大枝踊りクラブ様(国見町・梁川町)：雑巾○栗野老人クラブ様(梁川町)：タオル

ケアハウスでは
入所者を募集して
おります

ケアハウス広瀬とは

・60歳以上の高齢者専用のアパートです。

・三度食事とお風呂をご提供します。

・外出や外泊は自由にできます。

・様々な生活のご相談に応じています。

・お部屋は一人部屋です。

入居料
月 六八、〇〇〇円
一、二〇、〇〇〇円

(所得に応じて異なります)

お問い合わせ先
梁川町字東土橋65-1
577-6600